

文化振興大綱の趣旨

本県の強みである以下の二分野の施策に力点を置いた、個性の際立つ大綱を策定します。

各分野の目的

歴史文化資源活用分野

歴史を通して
日本及び地域の文化への理解
を深める。

奈良に住まうことへの
誇りと文化継承の機運の醸成。

観光・まちづくり等
各分野における
地域振興施策に歴史文化資源を活用。

芸術文化振興分野

県民が芸術文化に親しみ、
また自ら活動に参加する機会を創出。

将来にわたって芸術文化分野を
リードする人材を育成。

本県が、芸術文化により、
県民をはじめとして
国内外の多くの方々が集い
交流を深められる場となる。

両分野のつながりを強く意識して施策を推進

【文化振興施策全体の方向性】

過去の文化から学び、様々な英知を得、また芸術文化活動を通じて現代をより豊かに
生きることで、本県が日本や地域の文化を新たに創造していく力を持つ県、郷土の誇りを
基礎にして、文化の力を地域や産業の発展に活かす県となっていくことを目指します。

現状と課題

上記目的の達成のため、現状・課題を分析し、以下のことに留意して施策を推進します。

【歴史文化資源活用分野】

- 全庁的に歴史文化資源活用を意識した施策を推進。これらを一元的に情報発信。
- 全ての県職員が地域の歴史を意識した施策推進を行うような職員の気風を培う。
- 歴史文化資源データベースを整備し、全庁的な施策推進の基礎とする。
- 市町村等と共に歴史に関する説明力向上の取り組みを推進。
- 県立及びその他の歴史文化資源活用関連施設が連携し効果的に施策を推進。
- 成果測定にあたっては、定性的評価も採り入れ、定量的評価と併せ総合的に判断。また、
評価の県民の皆様との共有により、当分野への関心と行動を喚起し、共に施策を推進。

【芸術文化振興分野】

- いつでも、どこでも、だれでもが、芸術文化にふれ参加する機会を創出。
- 県内施設に加え、社寺等の奈良らしい場所におけるイベント展開を推進。
- 県下全域のイベント情報を収集・発信する仕組みを構築し、芸術文化を新たな「奈良ブランド」として確立させるため、知名度向上を図る。
- 幅広い分野・世代における人材育成・支援を推進。
- 県内の芸術文化関連施設が連携し効果的に施策を推進。

本県の文化振興施策の方向性

左記を踏まえ、分野や性質ごとに分類した施策の方向性は以下のとおりです。

【歴史文化資源活用分野】

(1) 歴史文化資源活用施策全般について

- 施策対象のデータベース化
- 補助金を通じた整備・活用の支援体系の再構築
- 歴史に関する説明力の向上と各種プロジェクトの効果的実施による情報発信強化
- 海外への日本の文化の紹介をはじめとした国際展開
- 県民の皆様が歴史に親しむ機会や場を提供するなど、地域交流の推進
- プロ人材の養成をはじめとする人材育成
- 他の行政分野における歴史文化資源活用の観点への留意

(2) (仮称)奈良県国際芸術家村の整備

- 歴史文化資源活用施策を更に発展・展開する総合的拠点として整備
- 各政策分野と連携し、関連施設とあわせて複合的に整備

(3) 県立歴史関連施設の役割と連携

- 施設ごとの独自の機能とそれらを最大限に果たし、その機能を適切に維持していく館運営
- 各館連携による効果的な歴史文化資源活用施策の推進

(4) 県立を除く歴史文化資源活用関連施設の役割と連携

- 県はこれら施設の取り組みなどを集約し、より訴求力のある形に編集して県内外へ効果的に発信
- 地域文化継承の担い手として、各種の歴史文化資源活用関連施策を実施

【芸術文化振興分野】

(1) 芸術文化施策全般について

- 障害の有無や年齢等に関わらず芸術文化活動に取り組む県民意識の醸成
- 伝統的な文化の継承・発展のため、後継者育成・発表の場づくりを推進
- 「芸術文化＝奈良」という新たな「奈良ブランド」の確立に向けた情報発信強化
- プロ人材の育成をはじめとする人材育成
- 補助金等を通じた芸術文化活動支援

(2) 県立芸術文化関連施設の役割と連携

- 県民や観光客等が芸術文化の本物と出会い、楽しむことができる場の提供
- 社会で活躍する人達や県民の芸術文化発表を行う場の提供
- 地域(市町村)を主導し、地域全体の連携による効果的な芸術文化関連施策の推進
- 芸術文化活動の拠点としての機能を適切に果たしていくための整備

(3) 県立を除く芸術文化関連施設の役割と連携

- 地域に密着した芸術文化の活動・鑑賞の場として、各種の芸術文化関連施策を実施
- 県はこれら施設の取り組みなどを集約し、より訴求力のある形に編集して県内外へ効果的に発信

目標と指標

本大綱に示す施策の実施にかかる、成果(行動)目標と成果(行動)指標を設定します。

- 【成果目標1】 県民が、歴史を通して地域の文化への理解を深め、奈良県や身近な地域への愛着を感じている状態の実現
- 【成果目標2】 県民が、地域の文化的環境に対して満足している状態の実現
- 【成果目標3】 県民が、文化芸術の鑑賞活動や創作活動等を盛んに行っている状態の実現
- 【成果目標4】 奈良県の歴史や芸術の魅力が動機として、訪問や周遊・観光が盛んに行われている状態の実現
- 【行動目標1】 奈良県の歴史や文化の情報が盛んに利活用されている状態の実現
- 【行動目標2】 歴史文化資源の説明について、わかりやすく親しみやすい説明手法が確立されている状態の実現

文化振興施策の方向性と事業展開

現状・課題分析を踏まえた本県の歴史文化資源活用施策の方向性と、施策分野や性質ごとの事業展開については以下のとおりです。

分類	施策の方向性	事業展開例
<p>歴史文化資源活用分野</p> <p>(1)歴史文化資源活用施策全般</p> <p>①施策対象のデータベース化</p> <p>②補助金を通じた整備・活用の支援体系の再構築</p> <p>③情報発信強化</p> <p>④国際展開</p> <p>⑤地域交流</p> <p>⑥人材育成</p> <p>⑦他の行政分野における歴史文化資源活用の観点への留意</p> <p>(2)(仮称)奈良県国際芸術家村の整備</p> <p>(3)県立歴史関連施設の役割と連携</p> <p>(4)市町村立歴史関連施設の役割と連携</p>	<p>○歴史文化資源の存在と分布が全県的に把握された状態を実現。 ○説明力向上を図るとともに、これに資する情報については、作成・編集した説明文も蓄積。</p> <p>○特に価値の認められる歴史文化資源に対し、必要な保存・修理を行い、物理的に維持し、活用する仕組みを構築。</p> <p>○効果的な発信手法や発信のための情報編集手法を確立し、市町村等、県以外の主体と共に発信。 ○発信を効果的に進めるため、各種プロジェクトを展開。</p> <p>○海外における日本文化の紹介や、海外の文化遺産修復の研修を行うなど、文化に関する国際交流および国際貢献の推進。</p> <p>○地域において歴史に学び親しむ取り組みを実施。 ○歴史文化資源活用関連出先機関を地域交流の拠点施設として、その効果的な運営を図る。</p> <p>○歴史文化を継承する担い手としてのプロ人材の育成、一般の人々の機運を醸成。 ○すべての県庁職員が地域の歴史を踏まえて業務を進めることができる仕組み、組織体制を構築。</p> <p>○文化、文化財を所管する部局のみに留まらず、行政各分野において歴史文化資源活用の観点を意識した施策推進を継続実施。</p> <p>○歴史文化資源活用施策展開の総合拠点及び芸術文化の交流・ふれあいの場として整備。 ○各政策分野とも連携し複合的に整備を進め、地域の賑わいと交流への波及効果を高める。</p> <p>○施設ごとの独自機能を最大限に果たす館運営を行うとともに、施設間連携を推進。 ○各館が所蔵・展示する歴史文化資源の魅力を最大限に伝えるための説明力向上を図る。</p> <p>○県は、市町村が歴史関連施設(埋蔵文化財センター等)を軸に実施する各種歴史文化資源活用の取り組みを取りまとめて効果的に発信する。</p>	<p>○歴史文化資源データベースの構築・運用</p> <p>○国・県・市町村指定文化財、その他各地域で大切にしたい歴史文化資源の保存・修理や活用を支援</p> <p>○説明力向上のための取組実施と事例蓄積 ○「記紀・万葉プロジェクト」「聖徳太子プロジェクト」の展開 ○時機を捉えた情報発信強化施策の新規実施</p> <p>○ACCU奈良による国際協力事業の支援 ○欧米の著名な美術館において奈良の仏像を展示</p> <p>○世界遺産教室の実施 ○文化財修理・修復体験等の実施</p> <p>○文化芸術の担い手となる大学生等に対する支援 ○建造物修復現場インターシップ事業の実施 ○歴史文化の情報発信を担う女性翻訳家を養成</p> <p>○左記の観点により、各部局において施策を推進 ○職員向けに歴史を活用した施策推進の手引を作成</p> <p>○(仮称)奈良県国際芸術家村の整備 ○整備後に同所で展開するソフト事業の先行実施</p> <p>○各館の機能向上、説明力向上、機能維持のための整備等の取り組みの検討・実施 ○館相互の連携事業の検討・実施</p> <p>○共通テーマによる連携展覧会など、効果的な情報発信の取り組みを実施</p>
<p>芸術文化振興分野</p> <p>(1)芸術文化振興施策全般</p> <p>①県民意識の醸成(文化力の向上)</p> <p>②伝統的な文化の継承・発展</p> <p>③情報発信強化</p> <p>④人材育成</p> <p>⑤補助金等を通じた芸術文化活動支援</p> <p>(2)県立芸術文化関連施設の役割と連携</p> <p>(3)県立を除く芸術文化関連施設の役割と連携</p>	<p>○年間を通じ県内のどの地域においても多様な芸術文化イベントが開催されている状況を実現。 ○障害の有無や年齢に関わらず、芸術文化活動に取り組み、交流を行うことができる環境を整備。</p> <p>○文化的な価値が継承・発展を続けるため、後継者育成や発表の場づくりを推進。</p> <p>○県内外への効果的な発信手法を確立し、市町村や文化団体等、県以外の主体と共に発信。 ○「芸術文化＝奈良」という新たな「奈良ブランド」を確立。</p> <p>○プロ人材の育成や子どもたちが芸術文化活動に参加できる体制づくりを推進。 ○地域において芸術文化活動を創出、継承しようとする一般の方々の支援。</p> <p>○芸術文化活動の主体となる団体や市町村の活動を支援。 ○顕著な成果を収めた者や振興に貢献した者に対する功績を称える仕組みを構築。</p> <p>○県民や観光客等が芸術文化の本物と出会い、楽しむことができる場の提供。 ○社会で活躍する人達や県民の芸術文化発表を行う場の提供。</p> <p>○地域に密着した芸術文化の活動・鑑賞の場として、各種の芸術文化関連施策を実施。</p>	<p>○「ムジークフェストなら」や「奈良県大芸術祭」等多彩なイベントの開催</p> <p>○子ども向けの体験事業の展開</p> <p>○県内のイベントや施設案内を集約する仕組みづくり ○インターネット等を活用したブランドイメージの定着</p> <p>○「県立ジュニアオーケストラ」等の活動支援 ○地域におけるアートマネジメント研修会の開催</p> <p>○補助金等による活動支援</p> <p>○各施設における質の高い企画立案及び情報発信</p> <p>○統一テーマのリレーイベント等の開催 ○各機関の活動情報を一元化して発信</p>